

EPS: 経費精算システム

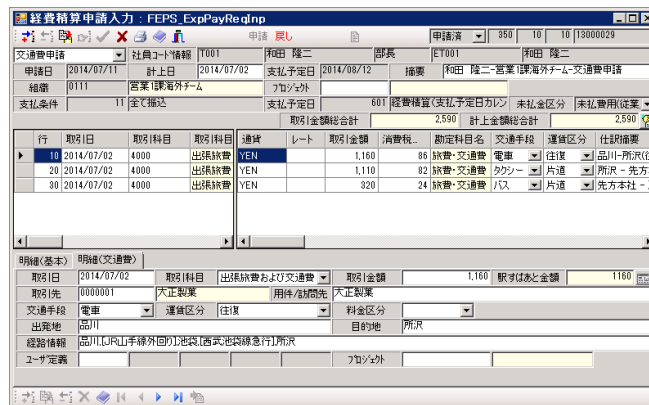
- 社員の交通費、その他経費に関する、精算申請から、承認・計上・支払(振込)までのプロセスを、APS 債務管理システムと連動して合理化するシステムです。
- 社外に出向く社員を多くを抱える企業で是非利用していただきたいシステムです。

主なメニュー

- 経費精算－申請承認状況照会
- 経費精算－申請入力、照会
- 経費精算－申請書印刷
- 経費精算－実績照会
- 経費精算－申請タイプマスター

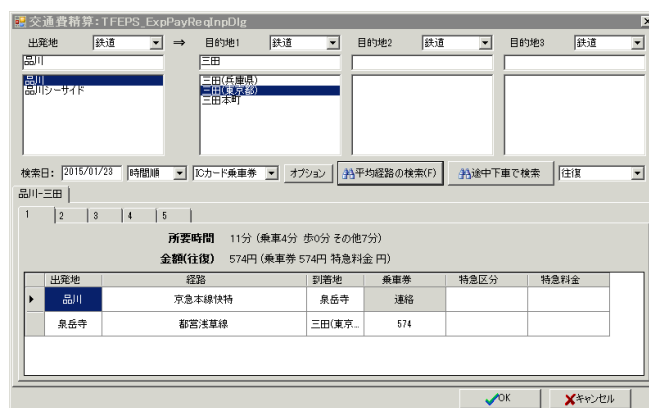
全体フロー

交通費の入力が便利

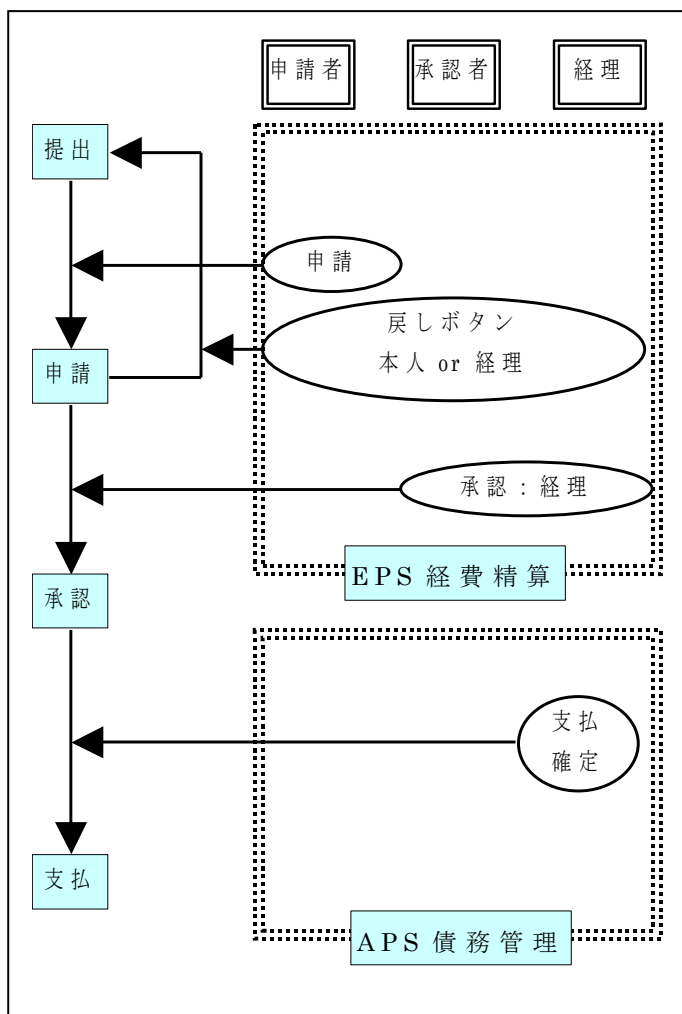


- 経費申請タイプで、交通費を選択すると、自動的に交通手段、運賃区分、料金区分、出発地、目的地、経路情報など交通費に関し登録すべき項目が登場し、入力することが出来ます。
- その他の経費タイプでは、交通費特有の項目の入力は不要です。
- また、エクセルからの取込も可能です。

駅すばあと(Rail-Go)と連動



- 交通費入力時点で、明細行の「駅すばあと」ボタンをクリックすると、「駅すばあと」の WebService である、Rail-Go が立ち上がります(別途契約していただく必要があります)。
- 駅すばあと画面で選択決定した、交通手段、運賃区分、料金区分、出発地、目的地、経路情報を Plaza-i に返します。また Plaza-i 側で事前に入力した出発地、目的地の情報を駅すばあとに



渡すことも出来ます。

- 駅すばあとから取り込んだ金額を上書きすることも出来ますが、取込金額は Plaza-i に保持されており、経費精算申請書に参考金額として印字されます。

タイムリーな経費精算が可能になります

- 支払予定日カレンダーを登録することにより、何日までに申請して貰えば、何日までに支払を行うという設定が可能となります。月に 3 回支払日を設定することも可能です。
- 支払予定日は同じだが、申請は 3 回に分けて行うなど、計上サイクルにおいて、複数の申請を行っても構いません。
- これにより経費発生から申請、承認、計上、支払のプロセスが短く、タイムリーになり、過去に発生した経費の申請が遅れてなされる等のことは無くなり、正確な財務報告システムを構築することが可能となります。

外貨対応

- 行毎に通貨を選択し、外貨金額での経費申請を行う事が可能です。
- 入力時、月毎に登録されたレートを自動セット致します。レートは都度、変更する事も可能です。
- 基準通貨で支払いを行うか、外貨で支払いを行うかが選択できます。

こんな時、EPS 導入をご検討下さい

- Plaza-i 一般会計もしくは債務管理を導入している場合
社員の経費精算はどの会社にも必ずあるはずですので、Plaza-i 会計システムとシームレスに連動する EPS の導入を是非ご検討下さい。
セットアップも容易であり、ストレスの無い、スムーズな導入をお約束いたします。
- 交通費の精算を行う社員が 10 名以上いる場合
エクセルを利用している場合、SUM の範囲指定、つまり合計額が合っている保証はありません。必ず継続反復する取引に対し、経理で取込、再入力など無駄なステップを加えることは、エラー発生の原因を作り込んでいるのと同じです。10 名、年間 12 回、年間 100 回以上発生するような取引については、システム化を考慮すべきです。
- 出張の度、もしくは移動の度、交通費精算伝票を起票している場合
伝票会計はコンピュータがない時代には帳簿より優れた集計方式でしたが、少額の取引処理に多大なコストが掛かる短所を持っています。
誰でもメールを打つ時代です、インターネット時代に相応しい経費精算システム EPS で、事務処理コストを削減しましょう。
- 社員が多く、仮払も多い場合
小口現金の支出と仮払金の精算(消込)は、価値

が少ないのに時間が掛かる大変にコストパフォーマンスが悪い処理です。

本システムは月に複数回、短期間に社員に振込を行い、仮払をしないことを前提としています。

EPS を採用することにより、思い切ったビジネスプロセスの改革を実現しましょう。

- 外国人が社員にいて、バイリンガルの経費精算システムが必要な場合
英語の画面で、英語の経費精算書を出力することができますので、外国人がいる場合にも、ピッタリです。
- 海外出張が多い場合
外貨での経費申請が可能のため、海外出張が多い企業にも最適です。